

熱気と興奮、市民の心揺さぶる一日。



8月28日、日本スポーツ振興パークみらい（総合運動公園）で「令和8年夏巡業 大相撲つくばみらい場所」が開催されました。

巡業とは、本場所の合間に全国各地で開催される興行のことで、本場所より力士と間近に接することができるほか、本場所には無い催し物を観られるのが魅力。当日は約1,100人の方々が集い、間近で見る相撲の迫力に拍手喝采でした。

今月号の特集では、大盛況のうちに幕を閉じた大相撲つくばみらい場所の様子をご紹介します。

図 伊奈庁舎秘書広報課（内線1105、1107）



巡業の一日



公開稽古

取組

初切

太鼓打

髪結実演

相撲甚句

横綱土俵入り・幕内取組

弓取式

※1：力士の髷を結う人
※2：力士が公の場で結う髷のこと

床山^{※1}が力士に大銀杏^{※2}を結う行程を土俵上で披露する。力士の丁髷をほどいた長髪が、見事な大銀杏となる名人芸に観客も興味津々。床山を務めた床慶は、つくばみらい市の山王新田出身。

相撲に関する七五調の囃子歌を美声力士が披露。江戸時代が起源といわれ、新弟子が通う相撲教室でも必須科目となっている。

相撲の禁じ手をコミカルに実演で紹介する大人気の演目。

「寄せ太鼓」「一番太鼓」「はね太鼓」など、本場所前や本場所中に呼出が打つ美しい太鼓の音色を土俵上で披露する。

結びの一番終了後、勝った力士に代わって喜びを表現する儀式。